

## 第四号議案

### 平成 22 年度事業計画

#### 重点事業（案）

1. 看護職能団体としての組織力の強化
2. 看護職の確保・定着に向けた事業推進
  - 1) 看護職の卒後臨床研修事業の推進
  - 2) ワークライフバランスの実現
  - 3) 潜在看護職員復職支援事業
3. 社会変化に即応した継続教育の推進と看護職のキャリア開発への支援
4. 県民の時代の要請に対応した三職能の専門性の強化
  - 1) 生活習慣病予防を目指した効果的な保健指導の充実
  - 2) 安心・安全な出産環境の実現に向けた助産師外来・院内助産システムの促進
  - 3) 医療の場の変化に対応した安全で質の高い看護の提供
5. 安全で安心な療養生活を支える訪問看護の推進
6. 新公益法人制度における新公益法人に向けての体制づくり

目 項	目 標	事 業	事 業 お よ び 内 容	
I 組 織 に 関 す る 事 項	I-1 組 織 の 強 化	1) 協会組織強化	(1) 会員数の増加・拡大 ①目標 5,400人を目指す ②看護教育機関への働きかけ ・行事への参加（入学式・戴帽式・卒業式参加・祝電） ・県看護教育機関連絡協議会との連携 ③セカンドキャリア会員の増加促進 ④未加入施設等への働きかけ ・地区支部や各職能委員会との連携による働きかけ ⑤職能委員会による働きかけ	
		(2) 地区支部との連携及び支援	①連携のための協議と情報交換 ・施設会員代表者会議開催 年2回 合同研修1回 地区支部単位1回 ・事業展開のための要望・提案 ②助成金の交付 ③④ホームページ活用（eメール・インターネット活用）	
	2) 会員サービスの充実	(1) 会員等への情報提供	①タイムリーな情報提供（ホームページ、eメール他） ②「黒潮」会報年4回発行 ③看護職賠償保険加入の案内	
		(2) 研修による啓発	①新入会員オリエンテーション（6月29日） ・研修会 会員ハンドブック・定款・会員バッジ等配布 ②教育研修計画に準ずる ③看護者の倫理綱領の普及啓発	
	I-2 組 織 の 運 営	1) 円滑な組織運営	(1) 諸会議開催に関する こと	①通常総会 年1回以上 ②常務理事会 年6回以上 ③理事会 年6回 ④理事・各委員長合同会議 年2回 ⑤代議員会 年1回 ⑥監査 年2回 ⑦職能委員長会 年2回以上 ⑧各委員会（常任・特別） 適宜 ⑨各職能別集会 年1回
			(2) 日本看護協会開催の 諸会議に関する こと	①通常総会 年1回 ②審議員会 年1回 ③法人会員会 年2回 ④近畿地区法人会・職能委員長会 年1回 平成22年度 担当は京都府看護協会（10/4.5）
(3) 日本看護協会との連携			①各種調査や各種事業への協力	

項目	目標	事業	事業および内容
I 組織に関する事項	I-2 組織の運営	2) 広報活動	(1) 会報「黒潮」の充実 ①県看護協会ホームページの活用 ②機関紙「黒潮」の内容充実（4回発行） ホームページによる公開 ③協会員参画型の紙面づくり
		3) 会員の福利厚生	(1) 個人情報保護とその取扱整備 ①個人情報保護の管理 ②個人情報取り扱いマニュアルの運用
			(2) 各章候補者の推薦 ①日本看護協会会長表彰・県ナース賞 ・県看護協会会長表彰他
			(3) 慶弔見舞他 ①慶弔・災害見舞等 ②役員・委員等の公務災害補償等
		4) 公益法人制度 改革への対応	(1) 新公益法人認定に向けての準備 ①プロジェクトチームの立ち上げ ・情報収集と情報提供 ・現状分析と協会事業の見直し ・新公益法人に向けた新定款等の検討
		5) 新看護研修センター 建設に関する検討	(1) 建設に関する検討と情報の提供 ①看護研修センター建設に関する具体的検討 HPや機関誌による広報 ②トランスコスモス施設の使用に関するアンケート調査
6) 事務局運営体制 強化	(1) 事務局組織の改編と事業運営の強化 ①組織の見直し ②各役割と業務の見直し		
II ナースセンター 事業	1) ナースセンター 事業強化	(1) 就業に関する相談指導及び斡旋 ①ナースセンター便り発行（年4回） ②求職・求人登録の推進 ③求職者への相談支援 ④看護学生就業支援（就職説明会への参加）	
		(2) 行政及び関係機関との連携 ①近畿地区間での連携と情報交換 ②県及び中央ナースセンターとの連携	
II ナースセンター 事業	2) 看護職確保と 職場定着促進	(1) 看護職の再就業支援及び職場定着促進 ①看護師職能・社会経済福祉委員会との連携 ②再就業・離職防止相談事業の強化 ③リフレッシュ研修（新人・中堅看護職対象） ④中堅看護職員実務研修（3回×3日間） ⑤看護職確保定着推進事業の趣旨周知 ・看護管理者や看護学生への働きかけ	
		(2) 潜在看護職復職支援事業（地域医療再生計画） ①潜在看護職登録システムの整備 ・登録の促進 ・潜在看護職復職支援研修	
		(3) 新人看護職員研修責任者研修 ①研修責任者研修開催（5回） ②研修実施評価と次年度の計画	
	3) 第4次NCCSシステムの管理と運用	(1) 第4次NCCSシステムのスムーズな活用 ①NCCS稼働状況の評価	
		(2) セカンドキャリア登録の促進と積極的な活用	
4) 「看護の心」の普及事業	(1) 「看護の日」「看護週間」事業 ①「ふれあい看護体験」県内高校生対象 ②各地区「看護の日」事業の実施 ③「一日まちの保健室」開催		
5) 訪問看護推進事業	(1) 訪問看護に関わる連携の推進 ①訪問看護推進協議会 1回 ②訪問看護に関する調査 ③医療機関に勤務する看護職の研修（3日間） ④訪問看護管理者研修（2日間）		
III 看護実践に関する事項	3 職能合同活動	1) 看護の質保証の推進 ①関連研修等による指針普及と啓発 ②倫理便り 黒潮発行時配布（看護師職能委員会）	
		2) 各職能委員会活動 ①各職能集会和3職能合同研修会（9/4） ②各職能間の課題の検討	
		3) 会員数増を目指して、三職能委員会の組織強化を図る ①各職能就労施設代表者への働き掛け ②未加入施設への訪問	

項目	目標	事業	事業および内容
Ⅲ 看護実践に関する事項	保健師職能活動	1) 保健師の専門性を発揮していきいきと活動する	(1) 保健指導を担う人材育成 ①研修会の開催 ②県健康づくり推進課と連携
		(2) 日本看護協会と協働	①保健師の活動基盤に関する基礎調査(第2回目) ②保健師職能委員会による研修会開催
		(3) 地域住民の健康増進	①保健指導の充実 ②「まちの保健室」への協力
		(4) 会員獲得に向けての取り組み	①保健師職能委員会だより作成の検討
	助産師職能活動	1) 助産師の質向上を図り主体的な活動を支援する	(1) 助産師外来・院内助産院の普及と質向上の推進 ①院内助産開設に向けてのサポート体制の明確化 ②日本看護協会「院内助産ガイドライン」の普及 ③院内助産設立に向けた助産マネジメントの推進 ④助産師職能委員会による研修会開催
		(2) 地域住民の健康増進	①「まちの保健室」への協力(助産ブース設置)・乳がん検診・子宮がん検診のアピールをする
		(3) 思春期保健指導と子供虐待防止と子育て支援	①出前教室による保健指導(小・中・高の学校対象) ②命の教育の必要性。保護者を含めた教育
	看護師職能活動	1) 安全・安心納得のできる看護の提供と看護職の質向上	(1) 看護の質向上を目指して看護専門職としての能力開発を促進する ①認定看護師交流会への支援 ②新人看護職員研修制度の実態把握と充実に向けた取り組み
		(2) 組織強化のための看護協会の魅力のPRと会員増	①未加入施設への訪問 ②看護協会脱退者へのアンケート調査
		(3) 地区支部活動との連携	①地区支部活動への参加 ・職能委員会での取り組み報告と情報共有
		(4) 看護者の倫理綱領の推進	①やさしい倫理だより(機関紙「黒潮」で)発行
	Ⅲ 看護実践に関する事項	医療安全	1) 医療・看護における安全対策
(2) 事故発生時の対応			①会員に対する相談・支援 ②看護職賠償責任保険の普及 ③医療安全に関する情報提供 ④ガイドラインの普及推進
災害看護支援		1) 災害看護支援体制の整備	(1) 災害時の看護支援体制の検討 ①災害看護支援ナース登録促進 ②災害看護支援ナースの養成研修 ③災害時医療救護におけるリーダー養成 ④マニュアル完成と浸透
		(2) 災害への備えと支援活動のネットワークの強化	①県災害対策本部との連携と災害支援ナース派遣 ②日本看護協会と各都道府県合同訓練 ③被災県看護協会への災害支援ナース派遣
Ⅳ 県民の健康づくりの推進	1) 「まちの保健室」事業の充実	(1) 「まちの保健室」活動 ①「まちの保健室」開催 奇数月の第3土曜日・看護週間における「1日まちの保健室」の開催 ②セカンドキャリア登録と活用 ③各職能委員との連携した活動	
	2) 高齢者の権利擁護	①高齢者権利擁護実務看護職員研修(県委託事業) ②高齢者権利擁護推進員養成研修(県委託事業)	
Ⅴ 教育に関する事項	継続教育	1) 専門職としての教育研修の推進	(1) 社会の動きに対応できる継続教育の推進 ①平成22年度会員教育計画の実施と評価・教育計画に沿って ②研修の参加申込みの簡素化(ホームページ活用) ③環境整備 インターネットでの文献検索の充実
		1) 研究活動推進	(1) 和歌山県看護研究学会開催 ①企画・運営(開催予定日 H22年2/26)評価
	(2) 近畿地区看護研究学会への参加 ①開催協力と参加呼びかけ(兵庫県)(H22年12/10)		
	(3) 図書の整備と活用支援 ①図書の整備と活用支援 ②インターネットによる文献検索の支援		

項目	目標	事業	事業および内容	
V 教育に関する事項	管理者・指導者育成教育	1) 認定看護管理者教育課程の円滑な運営	(1) 認定看護管理者制度教育課程運営委員会開催 (2) ファーストレベル研修実行委員会 (3) セカンドレベル研修実行委員会 (4) 認定看護管理者制度教育機関審査への準備と対応	①受講者の募集と受講者決定 ②教育課程の履修・評価・修了認定 ③フォローアップ研修の企画 ④ファースト・セカンドレベル教育実行委員会との連携 ①ファーストレベル教育課程研修開催（6月22日～150時間）研修の運営・評価と次年度の企画 ①セカンドレベル教育課程研修開催（9月2日～180時間） ②研修の企画・運営・評価と次年度の企画 ①審査に向けての準備（11月予定）
		2) 看護管理者育成	(1) 看護管理者研修	①教育計画継続教育に準ずる ②施設会員代表者会議における研修会開催
VI 社会福祉経済の向上に関する事項		1) 看護職の確保定着推進	(1) ワーク・ライフバランスの推進	①看護職が働き続けられる職場作りに関する情報提供・ナースセンター事業や看護職能委員会との協働 ②ワークライフバランス導入施設の紹介 ③「看護職の労働安全衛生」「就業規則」等指針普及 ④EPAに関する情報収集と情報提供
		2) 看護職のたばこ対策推進	(1) 禁煙支援リーダーの活動への支援	①禁煙支援リーダーの活動状況の把握 ②禁煙対策推進施設の紹介 ③関連団体との協働と連携
VII 看護制度問題に関する事項	1) 准看護師問題への対応	(1) 准看護師から看護師への移行促進	①看護師養成二年課程入学支援・進学に関する相談対応と支援・進学支援のための情報提供 ②准看護師研修会・交流会開催	
	2) 看護基礎教育の検討に関する対応	(1) 看護基礎教育制度改革と卒後研修制度創設についての検討	①厚労省等での検討会報告書等の情報提供 ②日本看護協会の方針に基づき連携する	
VIII 啓発に関する事項	1) 社会へ看護について啓発	(1) 看護協会活動の広報	①「看護の日」のPR ②「1日まちの保健室」各地区支部で開催 ③関係他団体への後援、協賛依頼への協力	
IX 政策に関する事項	1) 看護関連政策の実現	(1) 看護政策に関する検討	①保健医療福祉制度の動向の情報提供 ②看護関連政策の提言 ③「ジユクドク及びハヤヨミ看護政策」の情報提供	
X 在宅に関する事項	1) 在宅看護の推進	(1) 在宅看護サービスの質向上と人材育成	①在宅推進委員会とナースセンター事業との連携 ②訪問看護推進協議会との連携 ③訪問看護・施設看護職の交流研修への協力	
		(2) 訪問看護・介護・居宅支援の資質向上	①県内の訪問看護ステーションの特色や機能の調査	
XI 関係機関との連携・協働	1) 渉外活動	(1) 県や市・県病院協会・県医師会・市医師会他との連携強化	①関係機関の委員及び協議会等への参画 ②後援・協賛依頼への協力 ③看護職員への派遣	
		(2) コ・メディカル団体との協働連携	①関係機関の委員及び協議会への参画 ②後援・協賛依頼への協力	

# 平成22年度 和歌山県看護協会教育計画

## 平成22年度 教育計画策定についての方針

### 1. 教育理念

和歌山県看護協会は、看護専門職としての倫理を遵守し、多様化する社会ニーズに対応できる質の高い看護を提供するために、豊かな人間性を持ち自律した看護職の育成を支援する。

### 2. 継続教育の目的

看護職としての倫理に則った上で、専門職としての資質を高め、社会のニーズに適切に対応できる。

### 3. 継続教育の目標およびプログラムの枠組み

次の10項目に対して、自己のキャリアラダー（受講者の看護実践能力）に応じた学習段階設定に相当する研修を主体的に受講し、自らの看護職としての資質向上に努めることができる。

### 4. 修了証を発行する研修

- 1) 医療安全管理者養成研修
- 2) 災害看護支援ナースの育成
- 3) 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程
- 4) 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程

### 5. 和歌山県看護研究学会

### 6. 和歌山県からの委託事業

- 1) 新人看護職リフレッシュ研修
- 2) 中堅看護職リフレッシュ研修
- 3) 医療機関で働く看護職の訪問看護研修
- 4) 訪問看護管理者研修
- 5) 中堅看護職員実務研修（経験5年以上）
- 6) 潜在看護師復職支援研修
- 7) 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会
- 8) 新人看護職研修責任者研修
- 9) 高齢者権利擁護推進員養成研修
- 10) 高齢者権利擁護実務看護職員研修

# プログラムの枠組み

## 教育目標

- 1.看護専門職としての感性・態度を養い、自己啓発の動機づけができるよう支援する。
- 2.看護の知識・技術を深め、看護実践が展開できる能力を養う。
- 3.組織活動を理解し、リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる能力を養う。
- 4.看護専門職として、保健・医療・福祉のニーズに対応できる能力を養う。
- 5.看護専門職としての倫理観を理解し、職務が行える能力を養う。
- 6.看護管理者として必要な知識・技術・人間性を身につけ、人材育成能力・問題解決能力を高める。
- 7.看護職者を育成するための能力開発を支援する。
- 8.訪問看護におけるスキルアップを図る。
- 9.看護職員の確保定着を図る。
- 10.看護研究のレベルアップを支援する。

## 研修の枠組み

- A 新人研修**
- B ジェネラリストの能力開発を促進する教育**
  - a) 専門職者として広く一般的な知識を得るための教育
  - b) 専門領域において役割を担い、能力拡大を目指す教育
  - c) 指導者としての知識・技術・態度の向上を目指す教育
  - d) 看護職者の健康管理をするための教育
- C 管理者育成のための教育**
  - a) ファーストレベル教育
  - b) セカンドレベル教育
  - c) 管理者教育
- D 職場における教育関係者の能力開発をするための教育**
- E 訪問看護職員の養成と資質向上のための教育**
- F 看護職員確保定着推進のための教育**
- G 看護研究学会**
- H 日本看護協会関連教育**

継続教育の目標およびプログラムの枠組み		レベル別研修	看護実践能力
		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 看護実践的側面</li> <li>2. 管理的側面</li> <li>3. 教育的側面</li> <li>4. 研究的側面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サードレベル</li> <li>・セカンドレベル</li> <li>・ファーストレベル</li> </ul>
IV	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ①専門看護師として役割モデルとなり、専門性を発揮できる。</li> <li>②創造的な看護実践を展開できる。</li> <li>2. 単位における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる。</li> <li>3. 単位における教育的役割がとれる。</li> <li>4. 管理および専門看護分野における研究開発を行い、変革の推進者となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく学ぶコミュニケーション技法</li> <li>・新人が起こしやすい医療事故とその防止</li> <li>・スキントラブルの実際とそれの対策</li> <li>・呼吸管理</li> <li>・フットケア</li> <li>・リンパ性浮腫「リンパマッサージ」</li> <li>・高齢者への看護・支援</li> <li>・看護師のストレスケア</li> <li>・エンゼルケア</li> <li>・自ら予防する生活習慣病</li> <li>・現場で役立つケアの実践</li> <li>・看護研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者に求められる交渉力</li> <li>・看護実践現場の問題分析手法</li> <li>・看護現場に活かすコーチング</li> <li>・透析を受ける患者の看護</li> </ul>
III	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 専門領域における看護実践の役割モデルとなる(プライマリ・ナーース、担当看護師として役割モデルとなる)。</li> <li>2. 医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる。</li> <li>3. 後輩および看護学生に対して指導的に関われる。</li> <li>4. 看護研究・研修を通して看護実践を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護記録と法的責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドレベル</li> <li>・ファーストレベル</li> </ul>
II	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程をふまえた個別的ケアが実践できる。</li> <li>2. 看護師(チームリーダー・担当看護師)の役割と責任を果たすことができる。</li> <li>4. 課題に研究的に取り組み、看護実践を振り返ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時の対応のいろは</li> <li>・感染防止のいろは</li> <li>・静脈注射</li> <li>・幸せになるための看護倫理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サードレベル</li> <li>・セカンドレベル</li> <li>・ファーストレベル</li> </ul>
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活援助のための基本的知識、技術、態度を身につけてベッドサイドケアが安全確実に実践できる。</li> <li>2. 看護師(チームメンバー・副担当看護師)の役割と責任を果たすことができる。</li> <li>3. 院内研修、看護実践を通して、看護の知識を深められる。</li> <li>4. 研究活動に参加する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サードレベル</li> <li>・セカンドレベル</li> <li>・ファーストレベル</li> </ul>

参考: 看護管理学習テキスト4(日本看護協会出版会)

受講者の看護実践能力に応じた学習段階設定(日本看護協会平成21年度教育計画より抜粋)

IV	論理的かつ実践的知識を統合し、卓越した看護を実践し、所属を超えてリーダーシップを発揮できる。自己の学習活動はもとより組織的な教育・研究活動を主体的に実践できる。
III	高度な看護活動を実践でき、かつ他者にモデルを示すことができる。自己の学習活動に積極的に取り組むのみならず、指導的役割を発揮できる。
II	看護実践の場において単独で看護を安全に実践できる。チームリーダー的役割や責務を認識し遂行できる。自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる。
I	指導や教育のもとで、基本的な看護を安全に実践できる。指導を受けることにより自己の学習課題を見つけることができる。

## I - 1) 継続教育 (旧会員研修)

目的: 以下の能力を養うことを目的とする。

①看護の知識・技術を深め、看護実践が展開できる。②組織活動を理解し、リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる。③看護専門職として、保健・医療・福祉のニーズに対応できる。④看護専門職としての倫理観を理解し、職務が行える。

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	申込様式	レベル
10-03	*注 新人対象 急変時の対応の いろは (講義形式) ※非会員可	1日 100名	看護研修 センター	6月17日(木) 10:00~16:00	4/1(木) } 4/20(火) ※上記注意 参照	救急のフィジカルア セスメントの基礎を学 ぶ。	・急変時の病態生理 ・急変時のフィジカルア セスメント ・急変時における看護の基 礎知識と対応	芝田 里花 日本赤十字社和 歌山医療セン ター 救急看護認定看 護師	会員 もしくは 会員登録 申請中 のもの 3,000円 非会員 10,000円		別
10-04	*注 新人対象 感染防止のいろは (講義形式) ※非会員可	1日 100名	紀南 文化会館 小ホール	6月18日(金) 10:00~16:00		日々の看護ケアと感染 の関連を理解し、実践 につなげる。	・スタンダードプリコーシ ョン ・感染経路別対策 ・職業感染予防 ・防護用具の使用法	吉倉有希乃 独立行政法人国 立病院機構南和 歌山医療セン ター 感染管理認定看 護師			別
10-05	*注 新人対象 「正しい知識と技術 でちょっと安心」 静脈注射研修 (講義形式) ※非会員可	1日 100名	看護研修 センター	6月26日(土) 10:00~16:00		静脈注射を安全に実施す るための基礎知識を習得 する。静脈注射に必要な 薬剤の基礎知識を理解し、 看護の役割と責任が果た せる。	・静脈注射に必要な薬剤の 基礎知識 ・静脈注射時の観察のポイ ント ・静脈注射と事故防止	水田真由美 和歌山県立医科 大学 保健看護学部准 教授			別
10-06	*注 新人対象 幸せになるための 看護倫理 ※非会員可	1日 100名	紀南 文化会館 小ホール	7月9日(金) 10:00~16:00	4/1(木) } 5/14(金) ※上記注意 参照	職業人としての自覚を 持って看護を行うた めの看護倫理の知識を高 める。	・看護者の責務 ・倫理綱領の理解 ・期待される看護師像 ・倫理的諸問題への対応	AM 木村佐多子 和歌山県 看護協会会長  PM 関守 研悟 聖福寺住職	別		
10-07	リンパ性浮腫 「リンパマッサージ のセルフケア指導」 ※セラピスト資格等は 専門の学会等でご確認 下さい。	各1日 各100名	看護研修 センター	7月27日(火) 10:00~16:00	5/1(土) } 5/14(金)	リンパ浮腫の基礎知識 を理解し、リンパマ ッサージなどのセルフ ケアの実際を学ぶ。	・リンパ性浮腫の病態生理 ・リンパ性浮腫の治療 ・リンパマッサージのセル フケア指導の実際	赤澤 千春 京都大学大学院 医学研究科 准教授	会員 3,000円	1 I~IV	
10-08	呼吸管理 (講義形式) ※非会員可	各1日 各100名	紀南 文化会館 小ホール	7月29日(木) 10:00~16:00	5/1(土) } 5/14(金)	呼吸管理の基本、知識 を修得する。呼吸ケ アの実際と合併症の予 防を学ぶ。	・生理解剖 ・酸素療法 ・フィジカルアセスメント ・口腔ケア	畑中 保子 日本赤十字社和 歌山医療セン ター集中ケア認 定看護師	会員 3,000円 非会員 10,000円		1
10-09	※どちらかの日程を 選択してください。		看護研修 センター	8月18日(水) 10:00~16:00							I~IV
10-10	看護研究	3日 50名	田辺 (もしくは 和歌山)	未定	未定	基礎からの研究計画書 作成までのプロセスが 理解できる。	・文献検索 ・研究計画書とは ・クリティークに必要な知 識とその実際  ※「川口孝康著:看護研究 ガイドブック、医学書院、 2002」をご持参下さい。	佐藤 政枝 首都大学東京准 教授	会員 20,000円	1 I~管理	
10-11	フットケア ※どちらかの日程を 選択してください。 ※ニッパー/打鍵器を ご持参下さい。音叉(C -128)/フィラメン ト/えいひ等は、手配 できればできるだけご 持参下さい。	各1日 各60名	看護研修 センター	9月6日(月) 10:00~16:00	7/1(木) } 7/15(木)	フットケアに必要な基 礎知識と感染予防を学 ぶ。セルフケアの 実際を学ぶ。	・フットケアに必要な基礎 知識(壊死予防も含め) ・フットケアの実際と足指、 つめのケアの実際 ・事例検討	大倉 瑞代 京都大学医学部 附属病院糖尿病 看護認定看護師	会員 3,000円		1
10-12			紀南 文化会館 小ホール	9月14日(火) 10:00~16:00				I~IV			
10-13	スキントラブルの 実際とその対策	各1日 各60名	紀南 文化会館 小ホール	9月18日(土) 10:00~16:00	7/1(木) } 7/15(木)	臥床患者のスキントラ ブルの実際について習 得することができる。	・スキンケアとは ・臥床患者のスキントラ ブルの実際とその対策 ・オムツの当て方	栗林 明夫 社会保険紀南病 院皮膚排泄ケア 認定看護師	会員 3,000円		1
10-14	※どちらかの日程を 選択してください。		看護研修 センター	9月21日(火) 10:00~16:00				I~管理			
10-15	エンゼルケア	1日 100名	看護研修 センター	9月22日(水) 10:00~16:00	7/1(木) } 7/15(木)	根拠を踏まえたエンゼ ルケアの標準手順を学 ぶ。	・エンゼルケアの見直しの 必要性 ・家族への関り方 ・エンゼルメイクの方法	名波まり子 棟原綜合病院前 副看護部長	会員 3,000円	1 I~IV	

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-16	自ら予防する生活習慣病～メタボリックシンドロームにならないために～ ※非会員可	1日 100名	看護研修センター	10月5日(火) 10:00～16:00	8/1(日) } 8/16(月)	生活習慣病の予防と生活指導の方法について学ぶ。	・生活習慣病とは ・メタボリックシンドロームとは ・実践可能な生活指導について	山本 康久 和歌山労災病院 内科部長	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 I～IV
10-17	透析を受ける患者の看護(透析室看護) ※非会員可	1日 100名	和歌山ビッグ愛12階	10月6日(水) 10:00～16:00	8/1(日) } 8/16(月)	腎疾患と透析に関する知識とケアの実際を学ぶ。	・慢性腎不全の治療、透析治療の特徴 ・透析看護とは ・透析看護師の役割 ・シャント管理 ・塩分・水分・体重管理 ・血糖管理	中村 雅美 (財)田附興風会 医学研究所 北野病院透析認定看護師	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 II～III
10-18	新人が起こしやすい医療事故とその防止 ※非会員可 ※どちらかの日程を選択してください。	各1日 各80名	紀南文化会館小ホール	10月26日(火) 10:00～16:00	8/1(日) } 8/16(月)	新人看護師に特有の医療事故を理解し、事故を起こさないために意義付けができる。	・新人の起こしたインシデント ・アクシデントの事例とアセスメント ・医療事故はどのように防げるか	細川香代子 セコム医療システム(株)運営 監理部	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 I～IV
10-19			看護研修センター	10月27日(水) 10:00～16:00						
10-20	現場で役立つ栄養アセスメント&ケアの実際～看護師がNSTで活躍するために～	1日 100名	田辺	11月12日(金) 10:00～16:00	9/1(水) } 9/15(水)	栄養に関する知識と栄養状態に関する問題の原因を把握し、患者それぞれの栄養ケアゴールを明確に判断できるスキルを学ぶ。	・NSTでの看護師の役割とは ・栄養ケアゴールとは	山中 英治 東大阪若草第一病院院長	会員 3,000円	1 I～IV
10-21	看護実践現場の問題分析手法(管理者、そして、中堅看護師から管理者を目指すレベルの方にお勧めです)	2日 50名	看護研修センター	11月20-21日(土日) 10:00～16:00	9/1(水) } 9/15(水)	看護管理者として組織分析するための様々な手法を学び、事例を通してSWOT分析の活用方法を理解する。	・組織分析とは ・なぜ、組織分析が必要か ・戦略とは何か ・組織分析の手法SWOT分析(十字チャート)	成田 康子 兵庫県立西宮病院看護部長	会員 10,000円	1 III～IV
10-22	高齢者への看護・支援～認知症・見守りの必要な患者へのケアを中心に～ ※非会員可	1日 100名	紀南文化会館小ホール	11月25日(木) 10:00～16:00	9/1(水) } 9/15(水)	一般病棟における認知症や見守りが必要な患者の特性と必要な看護を理解し、現場で活かせる能力を養う。	・認知症・見守りが必要な患者の特性 ・心身のアセスメント ・一般病棟における認知症・見守りが必要な患者看護の実際 ・家族支援と看護のあり方を学ぶ。	六角 僚子 特定非営利活動法人認知症ケア 研究所代表理事	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 I～IV
10-23	看護師のストレスケア	1日 100名	看護研修センター	11月26日(金) 10:00～16:00	9/1(水) } 9/15(水)	看護師のストレスについて理解を深め、対応やリフレッシュ方法の実際を学ぶ。リフレッシュすることで、日々の看護実践にゆとりを持つことに活用したい。	・ストレスマネジメントの基礎 ・ストレスマネジメントの実際 ・リラクゼーション	吉野 慎一 日本医科大学名誉教授	会員 3,000円	1 I～IV
10-24	看護現場に活かすコーチング ※非会員可 ※主として管理者を対象とする	1日 100名	看護研修センター	12月14日(火) 10:00～16:00	10/1(金) } 10/15(金)	職場のコミュニケーションを効果的に行い、相互理解、意思疎通を図りながら自律した専門職として看護現場で活かすコーチングスキルを学ぶ。	・コーチングとは ・コーチングスキル ・看護現場での実践コーチング	多羅尾美智代 元三木市民病院看護部長	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 III～IV
10-25	楽しく学ぶコミュニケーション技法 ※非会員可	1日 100名	田辺	未定	未定	看護場面において看護師として必要なコミュニケーション技術を学ぶ。	・コミュニケーションの概念・コミュニケーションスキル ・対人関係 ・アサーティブなコミュニケーション	石原 俊一 文教大学人間科学部教授	会員 3,000円 非会員 10,000円	1 I～IV

## I-2) 継続教育(看護管理者研修)

目的: 管理者として必要な知識・技術・人間性を身につけ、人材育成能力・問題解決能力を高める。

申込  
様式

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-01	看護記録と法的責任 ※非会員可	1日 100名	看護研修センター	平成22年 5月28日(金) 10:00～16:00	3/1(月) } 3/15(月)	看護記録の法的位置づけを理解し、看護記録の質と今後のあり方を考える。	・法的に適切な看護記録とは ・情報開示に耐えうる看護記録とは ・医療事故防止に貢献できる看護記録とは	稲葉 一人 元大阪地方裁判所判事 京大法学部教授	会員 5,000円 非会員 16,000円	1 II～IV
10-26	管理者に求められる交渉力 ※非会員可	1日 100名	看護研修センター	平成23年 1月22日(土) 10:00～16:00	11/1(月) } 11/15(月)	看護管理者が他職種と協働しつつ、看護の独自性を発揮するための方法を学ぶ。	・ネゴシエーションの基礎 ・交渉を成功させるための技術の実際	松村 啓史 テルモ株式会社常務取締役	会員 5,000円 非会員 16,000円	1 III～IV

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-27	ファーストレベル フォローアップ研修	1日 50名	看護研修 センター	8月3日(火) 9:30～16:30	6/1(火) } 6/15(火)	各募集要項参照		木村佐多子 黒田美也子	会員 5,000円	別紙
10-28	セカンドレベル公開 講座	1日 30名	看護研修 センター	9月10日(金) 9:30～16:30	7/1(木) } 7/15(木)			青木菜穂子 兵庫医療大学 准教授	会員 5,000円	別紙
10-29	セカンドレベル公開 講座	未定	未定	未定				未定	未定	未定

### I-3) 継続教育（日本看護協会衛星通信研修会）

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル	申込 様式
10-203	一般病棟に活かすが ん患者への緩和ケア	2日 100名	看護研修 センター	5月 14日(金) 15 日(土)	3/1(月) } 3/15(月)	衛星通信による研修です。詳細は日本看護協会教育 計画をご参照ください。すべて、研修時間は9:30 ～16:30です。		日本看護協会 会 員 7,000円 非会員 10,000円		1	
10-211	実践に活かすフィジ カルアセスメント	2日 100名	看護研修 センター	7月 9日(金) 10日 (土)	5/1(土) } 5/14(金)					1	
10-244	生活をつなぐ退院支 援～スムーズな地域 連携のために～	2日 100名	看護研修 センター	2011年 2月 4日(金) 5日 (土)	12/1(水) } 12/15(水)					1	

### I-4) 継続教育（認定看護管理者制度）

目的：和歌山県看護協会認定看護管理者制度教育課程は、多様なヘルスニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することをめざし、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献することを目的とする。

	ファーストレベル	セカンドレベル
定員	40名	30名
研修 期間	平成22年6月～	平成22年9月～12月
受付 期間	～4月12日(月) 17:00 必着	平成22年5月24日(月)～同7月2日(金) 17:00 必着
主な 研修 内容	看護管理概説 / 看護専門職論 / ヘルスケア提供システム論 / 看護情報論 / 看護サービス提供論 / グループマネジメント	医療経済論 / 看護組織論 / 人的資源活用論 / 情報テクノロジー
受講 要件	1) 日本国の保健師・助産師・看護師のいずれかの免許を有すること。 2) 保健師・助産師・看護師および看護士のいずれかの免許を取得後、実務経験が通算5年以上であるもの 3) 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されているもの	1) 日本国の保健師・助産師及び看護師のいずれかの免許を有すること。 2) 保健師、助産師、看護師の資格取得後、保健師、助産師、看護師の業務にが通算5年以上従事した者（准看護師経験は含まない）。 3) 以下のいずれかの要件を満たしていること。 ・ファーストレベルを修了した者。またはファーストレベルの教育課程修了と同等である者。 ・看護部長もしくは看護部長に相当する任にある者で過去に合計4週間（20日間）以上の看護管理研修を受けている者。 ・副看護部長もしくは副看護部長に相当する職位に1年以上就いている者で過去に4週間（20日間）以上の看護管理研修を受けている者 ・看護系大学院において看護管理を専攻し博士前期課程を修了している者。ただし、実務経験が通算5年以上あり、うち3年間は博士前期課程終了後の経験がある者 ・管理経験が3年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し修士号課程を取得している者 ・管理経験が3年以上ある者で、大学院において管理に関連する学問領域の修士号を取得している者
受講 料	会員 :126,000円 + 修了証明審査料 10,000円別途	日本看護協会会員 144,000円、非会員 204,000円 + 審査料等別途
申込 方法	別紙	別紙

### II-1) 組織強化

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-02	新入会員 オリエンテーション	1日 100名	看護研修 センター	6月29日 (火) 10:00 ～16:00	4/1(木) } 4/20(火)	①看護協会の活動を理解し、看護専門職としての責任と役割を自覚する。②職場における人間関係づくりやストレスを乗り越えるための方法を見出す。	・看護専門職の基本的責務 ・専門職としての組織活動 ・シンポジウム「先輩たちの経験談から学ぶ」	木村佐多子 (和歌山県看護協会会長) 他	無料	1
10-30	施設代表者会					未定				

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-31	保健師職能集会	未定	未定	9月4日(土)	7/1(木) 7/15(木)		未定			
	助産師職能集会									
	看護師職能集会									
	合同職能研修会									

## II-2) 組織強化(災害看護)

災害看護Ⅰ目的: 災害医療及び看護の基礎的事項を理解するとともに、災害看護に必要な知識を習得し実施できる能力を養う。

災害看護Ⅱ目的: ①災害看護の特殊性を理解するとともに、専門知識・技術を習得し、被災者及び被災地のために、災害支援ナースとして活動できる実践能力を習得する。②災害支援ナースとして参加する上での自己完結型災害看護支援の心構えと行動、必要な準備について習得する。

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	レベル
10-32	災害看護Ⅰ(基礎編)	2日 100名	看護研修センター	11月16日(火) 17日(水) 10:00~16:00	9/1(水) 9/15(水)	災害医療及び看護の基礎的事項を理解するとともに、災害看護に必要な知識を習得し実施できる能力を養う	・災害及び災害看護の基本的事項を理解する ・災害サイクルに応じた看護活動 ・避難所における看護 ・トリアージについて	黒田 裕子 NPO 法人阪神高齢者障害者支援ネットワーク	会員 6,000円 非会員 20,000円	1
10-33	災害看護Ⅱ(災害支援ナース育成研修)	2日 60名	看護研修センター	12月6日(月) 7日(火) 10:00~16:00	11/1(金) 11/15(金)	災害看護の特殊性を理解するとともに、専門知識・技術を習得し、被災者及び被災地のために、災害支援ナースとして活動できる実践能力を習得する。また、災害支援ナースとして参加する上での自己完結型災害看護支援の心構えと行動、必要な準備について習得する。	・災害支援ナースの看護活動 ・避難所の管理及び実際(机上シミュレーションを含む) ・被災地における協働のあり方(事例検討を含む) ・こころのケア(ロールプレイを含む)	黒田 裕子 NPO 法人阪神高齢者障害者支援ネットワーク 澤田 大輔 鈴鹿市生活安全部防災安全課防災グループ 船入 公孝 鈴鹿市	会員 10,000円	1

☆《災害看護Ⅱ》: 《災害看護Ⅰ》に相当する研修会を終了した方で、和歌山県看護協会の「災害支援看護師」に登録している看護師、または登録を考えている看護師で、開催日の二日間参加できる方。なお、修了者には修了証を発行する。

## II-3) 組織強化(医療安全)

10-34	平成22年度医療安全管理者養成研修会									申込様式
目的	組織内における医療安全管理者としての必要な基本的知識・技術を身につけることができる。									2
ねらい	医療現場における安全管理を効果的に行い、医療の質を保證することができる医療安全管理者を養成する。									
対象	管理者もしくは安全管理のリーダーシップが取れる方									
募集期間	平成22年5月1日(土)~5月14日(金)									
受講料	会員 30,000円 非会員 60,000円									
予定会場	看護研修センター									
募集定員	50名									
その他	全7回を修了した方には修了証を発行いたします。ただし、年度を越えての受講は不可です。									
プログラム										
回	日程・開催場所	内容						講師		
1	7月5日(月) 看護研修センター	医療安全対策の動向・看護職の責任と倫理・賠償責任保険 看護師の倫理規定/看護業務基準/日本看護協会の取り組み 医療組織におけるリスクマネジメント体制 リスクマネジメント組織体制/事故発生時の組織内の対応/外的対応・マスコミ対応/当事者へのサポート						平林 明美 (株)日本看護協会出版会損害保険部看護賠償責任保険サービス推進室室長		
2	8月4日(水) ビッグ愛 公開講座	医療におけるリスクマネジメントとリスクマネジャーの役割 歴史的経緯/医療におけるリスクマネジメントの基本的な考え方/リスクマネジャーの役割 医療安全に向けた職員への教育研修の実際安全な組織づくり						松月みどり 北野病院看護部長		
3	9月17日(金) ビッグ愛 公開講座	医医療安全管理と関連法規・医療訴訟の動向 医療事故と医療訴訟・判例の実態・法的責任 医療者が知るべき法律・過失を犯さないために・情報と記録						稲葉 一人 中京大学法科大学院教授		
4	10月13日(水)	ヒューマンファクターと安全文化インシデントの事故事例の分析 分析モデルの概説/医療事故の要因と対策モデルによる分析例						楠本 茂雅 ベルランド総合病院医療安全管理室室長		
5	10月22日(金)	危険予知訓練(KYTの概説)KYTの演習						戸田 由美子 三恵会東名厚木病院医療安全管理室室長		
6	11月10日(水)	医療事故発生時の対応(患者・家族への対応) 医療安全と患者参加コミュニケーションスキル 患者/家族/医療者間とのコミュニケーション リスクマネジャーの役割とは(グループワーク)						長尾 能雅 京大医学部附属病院医療安全管理室室長 医療安全対策委員会		
7	12月8日(水)	実際に抱えている課題と今後の活動方法について(グループワーク)						アドバイザー 医療安全対策委員会 高岸 壽美 日本赤十字社和歌山医療センター看護副部長		

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	申込様式
10-35	和歌山県リスクマネジャー交流会・フォローアップ研修会	1日 50名	看護研修センター	平成23年 1月19日(水)	11/1(月) } 11/15(月)	医療安全対策の充実を図るため、看護協会医療安全管理者養成研修会修了者および衛星通信医療安全管理者養成研修会修了者の相互支援および個々の実践能力を高める。		高岸 壽美 日本赤十字和歌山医療センター 副看護部長	会員 3,000円 非会員 10,000円	3
10-36	医療安全管理者養成研修会公開講座第2回	1日 50名	ビッグ愛	8月4日(水)	6/1(火) } 6/15(火)		上記参照	松月みどり	会員 5,000円 非会員 16,000円	2
10-37	医療安全管理者養成研修会公開講座第3回	1日 50名	ビッグ愛	9月17日(金)	7/1(木) } 7/15(木)			稲葉 一人	会員 5,000円 非会員 16,000円	2

## Ⅱ-4) 組織強化(看護師養成所2年課程通信制進学支援) 看護師2年過程通信制の進学に向けての支援(進学の意思のある准看護師)

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	申込様式
10-38	「進学支援」	1日 50名	看護研修センター	6月15日(火) 10:00~16:00	4/1(木) } 4/20(火)	・2年課程通信制の進学に向けて準備する ・小論文・レポートの書き方が分かる ・准看護師の交流を図り、2年課程進学に向けての充実を目指す	・入学に関する情報を得る ・小論文・レポート作成について ・2年課程卒業生の実践報告 ・グループワーク	櫻根 桂子 和歌山看護専門学校	会員 2,000円 非会員 6,000円	1

## 准看護師研修

目的：看護の責任と専門性を発揮するために准看護師としての資質の向上を目指す

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	ねらい	内容	講師名	受講料	申込様式
10-39	「医療事故防止」 「感染防止」	1日 50名	看護研修センター	7月13日(火) 9:30~16:30	5/1(土) } 5/14(金)	・医療事故を起こさず安心して働くために ・看護ケアと感染の関連を理解し、実践につなげる	・医療事故はこうすれば防げるか ・感染に対して注意すること ・感染経路別に対する対策	高岸 壽美 日本赤十字社和歌山医療センター看護副部長 柳瀬 安芸 県立医大付属病院感染管理認定看護師	会員 3,000円 非会員 10,000円	1
10-40	看護過程	1日 50名	看護研修センター	8月10日(水) 10:00~16:00	6/1(木) } 6/15(火)	・看護過程の考え方とその実際を学ぶ	・看護過程についての事例の展開	谷垣内郁余 和歌山赤十字看護専門学校教務主任	会員 2,000円 非会員 6,000円	1
10-41	看護の動向 准看護師交流会	1日 50名	看護研修センター	8月24日(火) 9:30~16:30	6/1(木) } 6/15(火)	・看護の専門性を目指し自己啓発のあり方を考える	・保健医療福祉の動向と看護者に求められるもの ・提出資料の準備・確認	木村佐多子 看護協会会長 益田 礼子 県立医大紀北分院 衣田 弥生 国保野上厚生総合病院	会員 2,000円 非会員 6,000円	1

## Ⅱ-5) 組織強化(衛星通信)

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	内容等	受講料	申込様式
10-114	働き続けられる職場づくり~いきいきと働くためのソフトウェアのコツ~	1日 50名	看護研修センター	11月7日(日)	9/1(水) } 9/15(水)	衛星通信による研修です。詳細は日本看護協会教育計画をご参照下さい。	日本看護協会 会員 6,000円 非会員 9,000円	Ⅲ~Ⅳ

## Ⅲ 和歌山県看護研究学会

番号	研修会名	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	受講料	申込様式
	和歌山県看護研究学会	1日 500名	和歌山県民文化会館	平成23年2月26日(土)	未定	会員 4,000円 非会員 5,000円 学生 1,000円	学会用

#### IV 和歌山県委託事業

テーマ	期間/定員	開催場所	開催期日	募集期間	目的	講師	資料代
新人看護職責任者研修	5日間 50名	看護研修センター 他	別紙参照	終了	研修責任者が新人看護職員研修の企画・運営に必要な能力を習得し、研修実施病院等における適切な研修実施体制を確保する。	別紙参照	別紙参照
中堅看護職員 実務研修 (経験5年以上) 3日間×3回	感染看護	各3日間 各50名 ※全日 10:00 ～ 16:00 看護研修センター 他	12月20日(月) 12月21日(火) 12月22日(水)	10/1(金) ) 10/15(金)	看護職員の専門性の向上及び医療事故の防止等今日的な課題への対応を図る。	柳瀬 安芸 県立医大感染管理認定看護師	3,000円
	リスクマネジメント		1月12日(水) 1月13日(木) 1月14日(金)	11/1(月) ) 11/15(月)		高岸 壽美 日本赤十字和歌山医療センター副看護部長	3,000円
	救急看護		平成23年 2月7日(月) ) 2月9日(水)	12/1(水) ) 12/15(水)		芝田 里花 日本赤十字社和歌山医療センター救急看護認定看護師	3,000円
訪問看護管理者研修 (2日間)	2日 20名	10日: 看護研修センター 17日: ビッグ愛	9月10日(金) 9月17日(金) 10:00～16:00	7/1(木) ) 7/15(木)	訪問看護の提供を統括する管理者の管理能力を高め、訪問看護全体の看護の質向上を図る。	10日: 木村佐多子 看護協会会長 宮川 啓子 訪問看護ステーション管理者 17日: 稲葉 一人 中央大学法科大学院教授	2,000円
医療機関で働く看護職の訪問看護研修(3日間)	3日 20名	看護研修センター 他	9月22日(水) 10月5日(火) 10月15日(金) 10:00～16:00	7/1(木) ) 7/15(木)	在宅看護に関する知識を習得し、入院患者が適正に在宅医療にうつるための環境の把握	22日: 名波まり子 橿原総合病院前副看護部長 5日: 各訪問看護ステーション 15日: 宮川 啓子 訪問看護ステーション管理者	2,000円
新人看護職 リフレッシュ研修	1日 100名	看護研修センター 他	10月6日(水) 10:00～16:00	8/1(日) ) 8/16(月)	卒後1年目看護職の早期離職防止	武用 百子 県立医大保健看護学部精神看護専門看護師 中 俊博 和歌山大学大学院教授	1,000円
中堅看護職 リフレッシュ研修	1日 70名	ビッグ愛	10月13日(水) 10:00～16:00	8/1(日) ) 8/16(月)	中堅看護職の離職防止	武用 百子 県立医大保健看護学部精神看護専門看護師 関守 研悟 松尾山聖福寺住職	1,000円
潜在看護職復帰支援研修					未定		

# 平成 22 年度 認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程 カリキュラム

教科目	ねらい	時間 (単位)	単 元	単元の到達目標	講 師	日 程
看護管理概説	看護管理の歴史的発展過程を通して管理のあり方を考察するとともに、管理の原理・原則を理解し、管理者としての役割を学ぶ。	15 (1)	1) 新しい時代の看護の課題 看護管理とは	・看護管理の歴史的発展過程を学ぶ。 ・看護管理の定義やプロセス機能を学ぶ。 ・看護管理に必要な知識体系について学ぶ。	黒田 美也子 日本赤十字社和歌山医療センター 前看護部長	7月6日(火) 7日(水)
			2) 看護管理者の役割	・看護管理者の資質と能力の要素について明確にする。 ・リーダーの役割について学ぶ。		
			3) 保健医療福祉動向	・保健医療福祉に関する最近の動向を知りその意味を洞察し、看護管理への関連と影響を考察する。	木村 佐多子 和歌山県看護協会 会長	8月3日(火) 9:30~12:30
看護専門職論	看護に関する制度や理論をより深く学び、自己の看護観を深め、専門職としての自立性を確立する。	30 (2)	1) 看護の定義と概念	・看護の定義や看護行為のよりどころとなる看護業務基準について学ぶ。 ・看護管理において、看護業務基準の果たす役割について学ぶ。	岡部 恵子 埼玉医科大学教育センター教授	7月19日(月・祝) 20日(火)
			2) 看護専門職論	・看護に関する制度や理論をより深く学び、看護専門職としての発達について考察し看護管理との関連について理解を深める。	任 和子 京大医学部附属病院看護部長	8月4日(水) 5日(木)
			3) 看護専門職の機能と活動	・社会の動向により拡大・変化する看護専門職の機能と活動の範囲について理解を深める。 ・拡大・変化する役割機能と活動を予測し看護実践の改善へ適応する方法を学ぶ。 ・看護の自律性と責務を看護管理を通じて明確にする。		
			4) 看護関連法規	・看護に関連する法律および諸制度の変遷・変更及び新制度など社会変化の背景を敏感に捉え、看護管理との関連で変化の意義や適応について追補的に理解を深める。	齋藤 淳子 日本看護協会政策企画部	7月30日(金)
ヘルスケア提供システム論	看護管理過程を展開する上での条件となる保健医療福祉制度を理解する。	15 (1)	1) 組織の成り立ちと構造	・組織に関する諸理論、諸説について理解する。 ・看護管理過程に組織論を適用し、所属組織の評価・改善の方策を試案する。	黒田 美也子 日本赤十字社和歌山医療センター 前看護部長	8月3日(火) 13:30~16:30
			2) ヘルスケアシステム論	・保健医療福祉をとりまく環境の変化をヘルスケアシステムの視点で整理する。	榎本真津 愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センターセンター長	8月19日(木) 20日(金)
看護サービス提供論	1. サービスの基本的概念を理解し、看護職として対象となる人々の権利を尊重し、安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供するための方法について学ぶ。 2. 提供したサービスの評価を行うための知識・技術を習得する。	45 (3)	1) 看護サービス提供論	・サービスの基本的概念を理解し、患者・利用者の視点から考えた看護サービス提供過程を学ぶ。	林千冬 神戸市看護大学副学長	7月17日(土) 24日(土)
			2) 問題解決	・事実を客観的に捉え、論理的な思考で解決に臨む概念化能力を養う。	増田えみ 大阪警察病院副院長	9月16日(木) 17日(金)
			3) 看護サービスの質管理	・提供した看護サービスの質を管理するための知識・技術を習得する。 ・リスクマネジメントのあり方を学ぶ。	中川徹 大阪学院大学情報学部教授	7月1日(木) 13:30~16:30 2日(金)
グループマネジメント	1. 組織の目的を達成するために必要となる行動が取れるよう組織集団の基本概念や集団の力動的諸機能を学ぶ。 2. チームリーダーとしての役割を自覚し、柔軟に行動できるよう自己能力の拡大をはかる。	30 (2)	1) グループマネジメントの基礎理論	・集団の力動的諸機能を理解し、円滑な関係を成立するための諸理論を学ぶ。	黒木保博 同志社大学社会学部教授	8月30日(月) 31日(火)
			2) 看護チームのマネジメント	・看護チームのリーダーとしての役割について学ぶ。	村島さい子 福岡県立大学看護学部前教授	10月18日(月) 19日(火) 20日(水)
			3) チーム医療と連携	・医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方について学ぶ。	木村眞子 和歌山県立医科大学附属病院 副院長・看護部長	9月28日(火) 29日(水)
看護情報論	情報の概念を理解し、看護管理に活用できる。	15 (1)	1) 看護と情報	・看護における情報のとらえ方取扱方に関する基礎としての情報の特徴とその倫理的な側面について学習する。	向田良子 埼玉県看護協会会長	10月25日(月)
			2) 看護サービスと情報管理	・看護情報管理のシステム化に必要な知識について学ぶ。 ・個人情報保護に関する法的・倫理的基盤について理解する。	坂本すが 東京医療保健大学医療保健学部看護学科学科長	11月3日(水・祝)
			3) 看護実践に生かす情報のあり方	・看護情報学の目的を踏まえ、患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報のあり方を学習する。	中川徹 大阪学院大学情報学部教授	7月1日(木) 9:30~12:30
			4) 看護実践に生かす情報の表現方法	・情報を他者に表現する方法について理解する。		

※ 研修時間：9:30～16:30〔但し、一部の研修日は除く〕

※ 開講式：6月22日(火) 13:30～15:30

※ 閉講式／意見交換・学びの共有：平成23年1月18日(火) AM